

請願第2号

件 名 誰もが安心して子どもを生み育てられる羽曳野市へ
保育園、幼稚園、学童保育、子育て支援の拡充を求める請願

請 願 者 ■ ■ ■ ■ ■
■ ■ ■ ■ ■
■ ■ ■ ■ ■ 他 2,704名

紹介議員 羽曳野市議会議員
笹井喜世子

【請願趣旨】

2015年4月から子ども・子育て支援新制度がスタートしました。新制度は関連法の成立過程において、多くの関係者の声を反映し、児童福祉法24条1項、市町村の保育実施責任を復活させるなど改善がされましたが、一方で、多様な保育の基準や形態が導入されるなど問題点も指摘されているところです。羽曳野市においても、保育の実施責任を基本に、実態をふまえた施策の改善・拡充が必要です。

多くの市民の願いは、安心して子どもを生み、育て、働き続けられることです。すべての子どもの健やかな成長と発達が保障されること、そのために必要な保育環境の整備と保育の水準を支える職員の処遇改善が羽曳野市に求められています。

私たちは、国や大阪府とともに羽曳野市が保育園、幼稚園、学童保育、子育て支援のための施策を拡充していただくよう、請願します。

【請願項目】

1. 「西部地区こども園」計画については、平成29年度開園ありきでなく、保護者、職員、地域住民の意見を聞くなど住民参加で検討してください。
2. 保育・子育て支援制度を改善・拡充するために、保育園、幼稚園、子育て支援、学童保育の予算を増額してください。
 - ①保育料など保護者の負担を軽減してください。
 - ②すべての保育園、幼稚園、学童保育施設の耐震工事を早急に進めてください。
 - ③保育園、幼稚園の正規職員を増員してください。
 - ④保育園、幼稚園、学童保育の非正規職員が安心して働き続けられるよう待遇の改善を図ってください。
3. 待機児童の解消は、認可保育所の増設・整備でおこなってください。
4. 子どもの貧困を解消するために、具体的な施策を拡充してください。

平成27年11月18日

羽曳野市議会
議長 金銅 宏親 殿